

iシェアーズ  
月次ETF\*資金流入レポート

ブラックロック・ジャパン株式会社  
iシェアーズ事業部

ETFは世界中で6,131銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.9兆ドル（約439兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見てくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2017年4月のETF資金流入

4月のETFの資金流入は401億ドルとなり、ETFの残高は4兆ドルに迫る勢いとなりました。

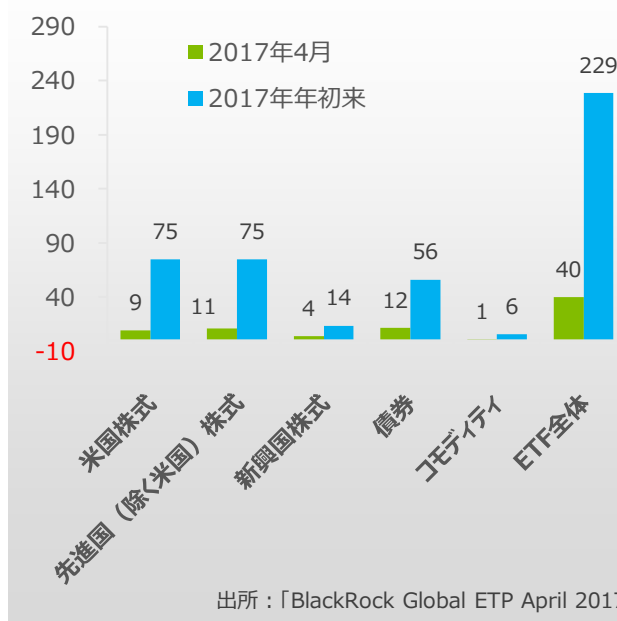
米国大型株式ETFは48億ドルの資金流入がありました。米国株式全体の資金流入は90億ドルと従前より減少し、米国大統領選前以来の低い水準となりました。

米国以外の株式ETFは比較的強い資金流入を記録し、6ヶ月ぶりに流出に転じた日本株式ETFの影響も相殺しています。欧州全域型株式ETFの資金流入は43億ドルと継続、過去2年で初めて40億ドル以上の流入が連続しました。マクロンの勝利により、このトレンドが継続する可能性が期待されます。米国を除く先進国株式ETFも44億ドルと流入は比較的強く、過去5ヶ月の平均と同水準の流入となりました。

新興国全域型株式、債券ETFは共に39億ドル、23億ドルと4ヶ月連続の強い流入を記録しました。（次項参照）

世界経済のリフレーション\*傾向にも関わらず、債券ETF全般では流入減速の兆候はありませんでした。年初来からの資金流入は560億ドルと、過去の年間最高流入額を記録した昨年と同水準のペースです。米国の投資適格社債ETFは29億ドル、米国国債ETFは20億ドルの流入となる一方、欧州の投資適格社債ETFは11億ドルの流出となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

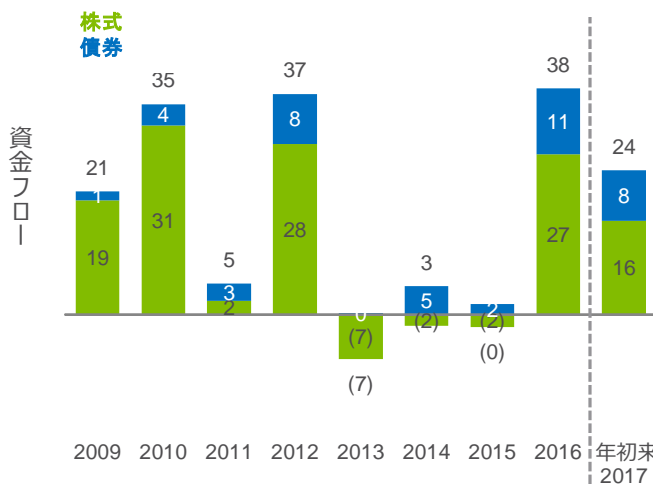


\*リフレーション デフレーションから抜けて、まだインフレーションになっていない状況のこと

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

## ETFから見る世界の投資家動向

【新興国全域型株式・債券ETFの年間資金流入動向（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape April 2017」

新興国全域型株式および債券ETFは2013年から2015年までの低迷期を抜け、2016年の年間で、過去最も多い資金流入を記録しました。昨年10月から12月にかけては米国大統領選挙や連邦準備制度の利上げに対する不透明感から資金流入は一時的にペースが止まったものの、2017年に入り、ETF設定以来の強いペースでの資金流入が見られています。こうした資金流入の背景に対するブラックロックの注目点は次の通りです。

- 政治的・軍事的な緊張の高まりおよびドル高懸念がここ数ヶ月で緩和されつつある中、新興国株式および債券は相対的に割安であり、利回り、経済成長見通しは足元のリフレッシュ環境下では魅力的と考えられる
- MSCIエマージング指数のドルベースの年初来リターンは13.4%は米国や欧州株式のリターンを上回っており、新興国全域型株式ETFの資金流入は年初来で160億ドルと、既に2010年の1/2となっている
- 新興国債券ETFへの年初来の資金流入は80億ドルと、昨年の最大年間流入額の110億ドルの記録に迫る勢いである

## ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。

※新興国市場への投資を検討される際は、先進国市場と比べ政治的不安定等により価格変動がより大きく投資リスクが高くなる点にご留意ください。

## 手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®

by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

ETF事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） [www.blackrock.com/jp/ishares](http://www.blackrock.com/jp/ishares)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。